



つなぐ「奉仕の心」これからも
2024年向陽高等学校創立100周年



風に向かって

学校法人向陽学園
歴史編集室発行
TEL0957(52)3210

あなたの「なりたい!」をかなえる7つの学科



今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策でオープンスクール(キャンパス)が開催出来ません。(高校は「Webオープンスクール」公開7/10より)

そこで、本学園の在校生に向陽学園での生活や、各科の特色等を紹介してもらいます。



【美容科】

「お客様に喜んでいただく『こころ』と『技』を身につけた美容師になりたい」

美容科3年 植木 美羽

向陽高校は「好きなことトコトン」というスローガンがあるように、自分の好きなことを徹底的にトコトン取り組むことができ、そのことにより自分自身の叶えたい夢に最短の道で近づくことができる、他の学校にはない充実した高校生活を送ることができます。

向陽高校には、7つの職業のプロフェッショナルを目指した専門学科があり、私はその中の「美容科」に在籍しています。本校の美容科は、長崎県唯一のダブルスクール制の高校です。ダブルスクール制とは、本校で高校の普通教科と専門教科を学び、福岡県の柳川市にあるハリウッドワールド美容専門学校の通信課程の生徒として、美容のより専門的知識と技術を学び美容師を目指す学科です。

それにより、在学中に美容師国家資格試験を受験でき、



美容師という夢を最短で実現できます。

私が美容科に入学した理由は、美容師である父の姿を見て幼い頃からあこがれを持ち、美容師になりたいと思ったからです。

向陽高校では、美容師になるという夢に向かって進む私たちを、しっかりとサポートして下さる先生方がおられ、とても良い環境で学習できひとりひとりが個性豊かに輝いた学校生活が送れます。仲間たちと切磋琢磨しながら美容の知識を身につけ技術向上に努力しています。

私たちの目標である美容師国家資格試験全員合格を目指し、さらには世界で活躍できる美容師になることを目標に笑顔で羽ばたけるよう、創立100年の歴史ある向陽高校で一致団結してこれからもしっかりと頑張りたいと思います。

写真は令和元年度卒業アルバムより

<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

溝口 寛子 先生 (保健体育、ソフトボール部顧問)

向陽高校はあと4年で100周年を迎えます。私は、本校に勤務して6年目です。

本校には、とても長い歴史があり、その間沢山の卒業生や、先生方がいらっしゃったことを実感させられます。

また、ソフトボール部には伝統があり、県高総体初優勝は昭和28年。全国大会の常連校であり強豪チームでした。

現在のソフトボール部も頑張っていますが、優勝旗を持って帰る事が出来ていません。100周年を迎えるにあたり、次こそは必ず優勝旗を学校に持ち帰り、また新たな向陽高校ソフトボール部の歴史を作りたいと思います。

向陽高校をもっともっと良い学校にできるよう私も精一杯頑張ります。

皆さんで素晴らしい100周年を迎えましょう!!



令和元年度卒業アルバムより

【エステティック科】

「美を幅広く学び お客様の身体と心を癒す スペシャリストになりたい」

エステティック科3年 門口 遥

私は小さい頃から、人をきれいにしてあげることが大好きでした。将来は人をきれいにしてお手伝いをしてたくさんの方に喜んでいただけるような職に就きたいと思い、向陽高校エステティック科ブライダルコースに入学しました。



エステティック科の特色は、エステティックコースとブライダルコースがあることです。エステティック科では、フェイシャル、ボディ、ヘッドなどの理論と実技を全員学びます。エステティックコースでは接客で使う英会話やアロマセラピー等を学びます。ブライダルコースではブライダルに関する様々な知識を学び、ブライダルプランナーについての勉強をします。

写真は令和元年度卒業アルバムより

エステティック科の中で2つのコースが



ある科は他にはなくエステティック科ならではの特色です。エステティシャンになりたい、ブライダルプランナーになりたいなど夢や目標を持った仲間が集まり、お互いを高め合いながら、さらに、楽しい事や苦しい事もわかり合える友達と、共に頑張っていける素晴らしい科だと思います。私は、卒業後美容専門学校に進学して美容師の免許を取得し、たくさんの花嫁様に喜んでいただけるブライダルのヘア&メイクアップアーティストになりたいと思います。そして、2024年に100周年を迎える、伝統ある向陽高校で学んできたという誇りを持ち、またエステティック科で学んだ「奉仕の心」を大切に、将来は社会で人のために何かを成し遂げられるような人になりたいです。

【保育科】

「優しいところを持った 子どもたちに愛される 保育者になりたい」

保育科3年 溝口 采奈



私は、小さい頃からの夢であった「保育士になる」という夢を叶える為、そして、「伝統ある向陽高校のソフトボール部でソフトボールがしたい」という思いで入学しました。私が、保育科で専門教科を学んでいく上で一番不安だった事はピアノを弾く事です。私は、ピアノを本格的に弾いたことが一度もありませんでした。しかし、一対一で指導してくださる先生の授業を受けて、不安だったピアノが得意になりました。また、部活動との両立も不安の一つでした。最初はただ毎日を過ごすことで精一杯でしたが、時間が経つにつれ、だんだんその生活にも慣れ両立することができました。

二年生では、「障害児保育」という専門教科を学習しました。私は学ぶ前まで、「障害のある子ども」と「普通の子供」をなにげなく分けて考えていました。

しかし、授業の中で「障害児」の保育について詳しく知ることができ、そのような子どもに関わりたいという強い気持ちが芽生えてきました。向陽高校の保育科で保育の基礎を学んだことによって、「保育士になる」という気持ちがさらに大きくなりました。卒業後は、短期大学に進学し保育士についてより深く学びたいです。そして、まもなく創立100周年を迎える、伝統ある向陽高校で学んだ誇りを持って、「誰からも愛される保育士、子どもの気持ちに寄り添いながら状況に合わせた保育ができる保育士」になれるように頑張りたいと思います。



写真は令和元年度卒業アルバムより

向陽は、夢にいちばん近い学校です。

